

魅力その2
人ひと

福興市の魅力は、出店者たちの人柄だと足しげく通う人たちは言います。出店者たちの元気の良さや優しさなど、町民性が来る人を引きつけるのでしょう。

福興市の縁の下の力持ち



ボランティアが思う福興市の魅力

上かみ 一枝さん (岡山県笠岡市)

福興市は、笠岡のぼうさい朝市ネットワークのつながりで、来るようになりまし。参加は4月で45回目。最初は団体参加でしたが、今では個人で参加しています。福興市の魅力は、やっぱり「人」ですね。最初は何かできること、支えられることがあればという思いでしたが、今では福興市に来ると逆に笑顔をもらい、元気をもらっています。人が好きです。南三陸町に通い続ける中で私の夢は「いつかこの町に住んでみたい」でした。その夢が叶って6月から月の3分の1を南三陸町で働くことになりました。岡山と南三陸町の架け橋になりたいと思っています。

魅力その1
旬の魚介

毎月の最終日曜日、福興市は開催されます。午前9時の開始前の駐車場には仙台ナンバーの車や東北県内の車、遠くは関東からの車で混雑します。そして、お店の前はいつもお客さんで長蛇の列となります。皆さんのお目当ては、その日南三陸町内で水揚げされた新鮮な海の幸の数々。毎回、福興市では、旬の魚介をテーマにした食材とオリジナルメニューが並び人気を博しています。ホヤ、ホタテ、カキ、ワカメ、ギンザケ、タコなど南三陸町を代表する魚介の品々が並び、お客さんはそれらを毎回楽しみにしていると言います。



毎月、イキのいい魚介を提供します



出店者が思う福興市の魅力

及川八千代さん (泰東丸)

生産者が直接商品の販売ができ、お客さんの反応を見ることができるところですね。私のところは店舗を構えていないので、普段、お客さんの反応を見ることができませんが、福興市だと「おいしかった」と言うお客さんの顔をじかに見ることができ、それがやる気につながります。そして、福興市をきっかけとしてリピーターになってくれるんです。後は、出店者同士仲が良く、皆で福興市や南三陸町を盛り上げようとしていくことですね。福興市を通して、ネットワークが広がりました。